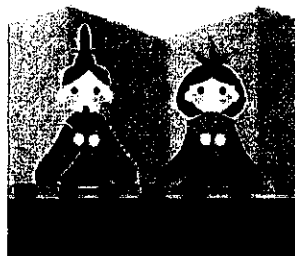


# 農業

令和2年3月号  
会誌 No. 1662



## 目次

総裁秋篠宮皇嗣殿下

福島県伊達市の台風19号被災農家をご訪問……………吉田 岳志 3

巻頭言

古くて新しい家禽，ホロホロ鳥……………小川 博 6

論壇

FFTC，台湾から……………長谷部 亮 7

◻秋期中央農事講演会◻

地域農業の再生と放送の役割……………合瀬 宏毅 9

◻農事功績者座談会◻

果樹の多品目栽培と観光農園開設による果樹作経営…………… 29

本当に楽しい農業を目指して……………藤原 克己 29

現地指導者のコメント……………生本 和浩 36

意見交換…………… 39

◻農業関係予算情報◻

令和2年度農業関係予算の概要……………編集部 48

◻農業・農村の現場から◻

寒い村での熱い想い……………関根 久子 62

－十勝さらべつ熱中小学校での取り組み－

**世界の農業は今**

穀物等の国際市場における新興国及び途上国の台頭……………古橋 元 67  
- 2000年代と現在における主要輸出国及び輸入国の変化 -

**私の経営と志**

多くの人に山鹿市鹿北町の魅力を知ってほしい……………松本 徹 71

**東京農業大学収穫祭から (第3回)**

次世代の農業はどう変わる!? 2019… 国際バイオビジネス学科 経営戦略研究室 73  
- 農業のイメチェン -

**飼料用米多収日本一**

「令和元年度 飼料用米多収日本一」受賞者…………… 79

**統計情報**

令和元年産日本ナシ、ブドウの結果樹面積、収穫量及び出荷量…………… 80

**農政情報**…………… 81

大日本農会だより…………… 82

編集部から…………… 82

**ミニ情報**

農林水産物・食品 輸出額の推移…………… 70

カンショの消費量の用途別割合 (平成29年度)…………… 81

**表紙写真説明**

**ハウスサクランボの受粉 (山形県東根市)**

山形県のサクランボの生産量は約1万8千トンで我が国全体の4分の3を占める日本一の産地です。

サクランボの花が満開になる頃、ハウスではハチの仲間が大活躍をします。主要な品種「佐藤錦」は、自家不和合性という同じ品種の花粉では結実しない性質があるため、園地に「紅さやか」など別の品種を受粉樹として配置します。受粉を確実にを行うにはハチなどの訪花昆虫の利用が効率的です。行動範囲の広いミツバチは広域の受粉が期待できますが、マメコバチは行動範囲が半径約40mと狭い反面、比較的低温でも活発に受粉活動をすること、ヒトを刺すことはあまりないこと、飼育が比較的容易なことといった特長があります。山形県におけるこうしたハチの普及割合は約8割ともいわれています。

(写真：東北農政局企画調整室, 文：編集部)